

第 62 回日本形成外科学会総会・学術集会
第 2 回キャリア支援委員会企画

【「LIFE WORK BALANCE：現在・過去・未来」：1 部】

座長：館 正弘（東北大学形成外科）（キャリア支援委員会：専任理事）
山下理絵（湘南藤沢形成外科クリニック R）（キャリア支援委員会：委員長）

- ・ Woman plastic surgeon の現状および第 1 回 SCF テーブルディスカッションの報告
キャリア支援委員会委員長：湘南藤沢形成外科クリニック R 山下理絵
- ・ 第 2 回は、総合病院の部長である女性形成外科医 3 名の「Life Work Balance」の報告
演者：松井瑞子：聖路加国際病院
田邊裕美：亀田総合病院
森島容子：大垣市民病院

【「LIFE WORK BALANCE：現在・過去・未来」：2 部】

座長：山下理絵（湘南藤沢形成外科クリニック R）
船山恵美（北海道大学形成外科）

- ・ 招待講演：自分の好きな生き方を shitemimasennka]
東北医科薬科大学（医学部）生理学教授 河合佳子先生
河合先生の御略歴 および 抄録をお願いします。
- ・ テーブルディスカッション



テーブルディスカッションの報告

育児出産など下級医師の意見

- 1) 育児・子育てと仕事の両立
- 2) 結婚のタイミングと子供を作るタイミング
- 3) 専門医を取るのはいつがよいか
- 4) 専門医は必要なのか？スペシャリティーが2つ何を取ればよいか？
- 5) 専門医取得後の仕事復帰と継続
- 6) 情報が入りにくい場所に勤務しているため不安
- 7) 医局人事により結婚生活が破綻するのではないか心配
- 8) 結婚出産後、自分がしたい分野から外された
- 9) 男性育休に関して、同じ医局内結婚での現状を知りたい
- 10) 出産後の職場復帰、各大学や病院で決まり事があるか？
- 11) 妻が育児中、仕事で疲れて育児の手伝いはできない。
- 12) 仕事復帰したくとも託児所がない。特に大学病院では

キャリアがある医師、上級医師の意見

- 1) 子供の発熱などで当日休診する場合のバックアップはどうしているか
- 2) 育児仕事の両立支援をしたいが、個々の家庭環境や仕事の目標が違うのでどこまで立ち入ってよいのか。
- 3) 形成外科あるいは医師を Burn out する女性医師の復帰対策。
- 4) 初期研修中の結婚が増え、1-2年で妊娠出産をするケースが増えている。復職へのアドバイスをどうしているか
- 5) 勤務医の方が楽であったが、自由な時形成外科間は少ない。形成外科勤務医の現況はどうなのか？
- 6) 学会に参加しても主が点数集めになっている。聞きたい演題を聞けない状況、主催する側も、各講演 1000 円が本当に必要か考えてほしい。
- 7) 産休、育休が当事者の希望になっている、1ヶ月から 2-3 年、ある程度の基準があればよいのだが。